

街中の高齢者対象のカウンセラーかもね

80才台半ばのあるご高齢の方と話す機会があった。この方は、一人でバスに乗り街に出かけるのが好きとか。

この方から先日お会いした時、次のような話を聞いた。

街にでかけた折、デパート等のベンチなどで休んでいると、結構、同姓の高齢者から話しかけられるとか。

時には、身の上相談（嫁、孫のことなど）の相手をすることもあるよう。また、買い物の品選びにつき合っただけだと云わたり、更に、「ご一緒にお昼でも」と誘われることもあるとか。

確かにこの方は、気さくさな方だけに、行きずりの出会いであっても相手の高齢者も気を許して、あれこれ話すのかもしれないね。

また、身の上話まで話してくれるようなこと聞くと、高齢者が心の内やつかえを誰かに聞いてもらいたいということは、年齢に関係なく人間の本質かなども、つい思いながら聴き入った。

見も知らない人だけに、気兼ねなく話ができるのでしょうかね。

そりゃあ、ご近所の方や高齢者用デイサービス等で話せば、どこからどう家族の耳に入るかもしれませんよね。

よく街中で女性の高齢者同士が話し込んでいるのを見かけるが、お連れ同士と今まで見ていたが、ひょっとすると、その中にはこうした出会いの語らいもあるのかも……。

我々はずいぶん高齢者問題対策というと直ぐに介護保険絡みのことを考えるが、こうした街中の光景の背景には、介護保険サービスを受けていない元気な高齢者であっても、それなりの高齢者問題があるのだなあと思つた。

この方は、街を歩く高齢者の聞き役のスぺシャルリストであり、高齢者対策の新たな側面の先駆者かもね。

さて考えてみるに、自分はしきりと「まずは自らから発信を！」と常々云っている割には、気が小さくて引っ込み思案(^_-)なだけに、街中で行きずりで出会う人に話しかける気さくさは身につけていない。

コミュニケーションにとって大事な切っ掛けとなるであろうこの方の気さくさを見習いたいと思うが、遠く及びそうにない。

まだまだ、「不言実行」が身につけていないようで、反省…… m(_ _)m